



おめでとうございます

▼祝状は敬老会の場で手渡されました（村上ムツエさん）



祝
100歳

▼祝状は敬老会の場で代理のご家族の方へ渡されました（甲斐勝さん）



平成24年度 百歳到達者祝状・銀杯伝達

村上ムツエさん（色見・小倉原）、甲斐勝さん（津留・永野）が満100歳

町内で、お2人の方が満100歳を迎えられました。村上ムツエさんは大正2年1月18日生まれ、甲斐勝さんは大正2年2月22日生まれです。お2人には、内閣総理大臣からの祝状と銀杯、また町からは祝状と祝金が贈られました。これからも、健康で元気にお過ごしください。

▼見事優勝した南球チーム



高森町ナイターソフトボール大会
南球チームが見事優勝

9月25日、町民グラウンドで「平成24年度ナイターソフトボール大会」が開催されました。大会には、3チームが出場し熱戦を繰り広げました。結果は次のとおりです。優勝／南球、準優勝／旭球友、3位／ファイヤーマン、最優秀選手賞：岩下博幸さん（南球）、優秀選手賞／馬原恵介さん（旭球友）

上色見・前原地区

ひめゆり会が清掃活動をして道路をきれいに

9月21日、上色見・前原地区でひめゆり会が清掃活動と草刈り作業を行いました。これは毎年行われているもので、草刈り鎌やほうきなどを手に作業を実施。道路沿いに生い茂っていた草はきれいに刈り取られ、スッキリとした景観を取り戻しました。



▲ひめゆり会のみなさんおつかれさまでした

▼厳やかな雰囲気の中、勢子と獅子舞が舞を奉納しました



尾下菅原神社秋の大祭 受け継がれる伝統の舞

10月3日、「尾下菅原神社秋の大祭」が催され、唐うちわを持った勢子の子もたちと雌雄2頭の獅子舞が、神社と多々野原公園で勇壮に舞を奉納しました。尾下菅原神社の獅子舞は県の重要無形文化財に指定されており、地区住民が尾下の伝統行事として今日まで受け継いでいます。子どもやお年寄りが集まり祭りを楽しんでいました。

▼高森警察署員によるにわかも行われました



平成24年全国地域安全運動出発式 地域の安全をみんなで守る

10月11日、高森警察署で「地域安全運動出発式」が開催され約140名の関係者が参加しました。式では、万引き防止を題材にした「にわか」やギターの弾き語りが披露されました。その後、高森署を出発し防犯パトロールを各地域ごとに実施しました。

第42回高森町老人クラブ演芸大会 歌や踊りで楽しい1日

9月29日、高森総合センターで「第42回老人クラブ演芸大会」が開催されました。これは町老人クラブ連合会（佐藤徹会長）が会員相互の融和と親睦のため毎年行っているもので、町内14の老人クラブが自慢の歌声や華麗な踊りを披露。出演者たちの熱演に、会場から大きな歓声と拍手が起こっていました。



▲各老人クラブが踊りや歌を熱演

第2回たのしく観光立町実現に向けた講演会 「高森町を楽しくするヒント」と題し講演

10月10日、高森総合センターで「第2回たのしく観光立町実現に向けた講演会」が開催されました。講師に長崎市出身、JTB コミュニケーションズの田中徹さんを招いて「高森町を楽しくするヒント」と題し講演されました。田中さんは地域の合意を基本とした地域デザイン、まちづくりを提唱。講演会の後、活発な意見交換が行われました。



▲参加者は田中さんの話に真剣に聞き入っていました

▼写真左は尾下区民体育祭のようす、写真右上は草部南部地区体育祭のようす、写真右下は野尻北部区民体育祭のようす



地区の融和と親睦を深める 町内各地区で多くの体育行事を開催

町内の各地区でたくさんの体育行事が行われました。9月22日は「尾下区民体育祭」、10月7日は「草部南部地区体育祭」と「野尻北部区民体育祭」、10月13日は「草部北部地区校友会体育祭」が開催されました。それぞれの地区住民、老人会や婦人会、消防団などが参加し、趣向を凝らした競技が行われました。綱引きなどの競技では白熱する場面も多々あり、子どもからお年寄りまで大変盛り上がった様子でした。地区の融和と親睦をさらに深めました。

▼くまモン隊によるショーに子どもも大喜びでした



第23回ふれあいフェスタ in 高森寮 多彩なステージに歓声

10月14日、立正福祉会高森寮で「ふれあいフェスタ」が開催されました。これは、子どもからお年寄りまで「障がいのある人も地域の人も一緒に楽しく過ごす催し」として今年で23回目を迎えます。フリーマーケットや、商工青年部など町内外からの出店もあり、地域のボランティアの輪で作られた「ふれあいフェスタ」は大にぎわいの一日となりました。

高森中央小学校5年生 春に植えたお米を収穫

9月25日に高森中央小学校5年生が稲刈りを行いました。春に田植えをした苗は、台風に倒れることなく、頭が垂れるほどに実っていました。児童たちは自分たちで植えたもち米の成長に大喜び。黄金色の稲に囲まれながら、一束ずついねいに刈り取っていました。



▲児童たちは昔ながらの道具を使い収穫しました